



発刊の辞

文 藤 武 雄

弘前大学は、開学以来十八年、年々充実した歩みが続けている。哲学教室も、この向可成りの数の卒業生を出し、教官も多くの業績をあげてきた。今年も、従来卒業生を中心として活動してきた「弘前大学哲学研究会」を、教官・卒業生、在学生を一本とする「弘前大学哲学会」に、発展的に改組し、哲学の研究ならびに普及を一段と強化することとなった。

こうして、弘前大学哲学会の第一回大会が、本年七月九日に弘前市中央公民館で開催された。その研究発表会と公開講演会には、尋常の会員と地方の篤学の人々とが参集した。盛会であった。

さて、本誌は、従来の名称と同じ「哲学会誌」という名であるが、以前より一層権威ある学術雑誌を目指して刊行されることとなった。今後の発展を会員一同とともに期待する次第である。

